

平成31年度予算見積調書

課室名：青少年課
 担当名：健全育成支援担当
 内線：2907
 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B37	青少年「街の応援団」事業費			一般会計	総務費	県民費	青少年育成指導費	青少年育成県民運動事業費		
事業期間	平成29年度～平成31年度	根拠法令	なし			宣言項目	06 次代を担う人財育成			
						分野施策	030621 豊かな心と健やかな体の育成			
1 事業概要	青少年の深夜徘徊や夜遊びの危険性を伝えるとともに非行の防止を図るため、県や市町村、地域住民、NPOなど関係機関・団体が連携し、積極的な声かけを行う非行防止夜間パトロールを展開する。 (1) 研修会の実施 869千円 (2) パトロールの実施 2,412千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 研修会の実施 869千円 少年たちへの積極的な声かけを適切に行うことができるよう、応援団員をはじめ青少年の健全育成に関心のある県民を対象とした研修会を開催する。また、取組の拡大を図るため、成果や課題の意見交換会を開催する。 イ パトロールの実施 2,412千円 青少年「街の応援団」(青少年育成推進団員やスポーツ少年団、学校PTA、民生児童委員などボランティア住民を中心に構成)が、地元警察等と連携し、声かけを行う非行防止パトロールを実施する。県は、応援団員がNPOからアドバイスを受けながら見守りを行う現地パトロール研修を実施し、応援団員の実践力の向上を図る。また、パトロールの必要なグッズ提供などの支援を行うとともに積極的な広報活動を展開し、応援団員が活動しやすい環境を整え、更なる取組の拡大を図る。 (2) 事業計画 平成31年度 ・30市町村における青少年「街の応援団」の結成(平成30年度 22市町) ・研修会の実施(全体研修会、成果と課題の意見交換会の開催) ・パトロールの実施(現地パトロール研修)、支援(グッズの提供、広報)、検証、総括 (3) 事業効果 地域の力で子供たちを見守り非行防止対策を強化することで、青少年の健全育成を支える。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 地域住民や青少年健全育成埼玉県民会議(市町村や青少年団体等で構成)、(特非)日本ガーディアン・エンジェルズなどの関係者と広く連携、現地パトロール研修への県職員参加						
2 事業主体及び負担区分(県10/10)										
3 地方財政措置の状況	なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×0.8人=7,600千円									
				財 源 内 訳				一般財源	前年との対比	
予算額										
決定額	3,281								3,281	△127
前年額	3,408								3,408	